

令和7年度地域連携推進会議 議事録

日時: 2025年12月23日(火) 10:00~10:50

場所: グループホームめぐり

参加者: 入居者様、入居者様の身元保証人、市町村障害福祉担当者様(2名)、地域関係者様、福祉知見者様、グループホームめぐり代表

地域連携推進会議の趣旨と重要性について説明

構成員の紹介

障害者グループホームの概要

グループホームめぐりの紹介

- 法人名: 合同会社めぐり／事業所名: グループホームめぐり。
- 開所: 令和3年2月1日。1階「めぐり」、2階「めぐり2」の2ユニット。
- 類型: 介護サービス包括型
- 障害: 知的・身体・精神・難病で特定なし。

入居者の現状・支援方針

- 現時点満室
- 服薬している方が多く、ホームで管理または自己管理を選択。
- 相互の生活尊重を重視。

Q→A 長期入居希望の場合は?長期入居希望の場合は意思を尊重。

-一人暮らし希望や在宅中心の生活など個別ニーズを尊重

介護保険と障害福祉の移行・連携

- ご本人様の状況・希望を踏まえ「個別移行支援会議」で関係者が協議。
- 医療的管理や介護度の重度化時は入院や介護施設への移行も選択肢。

日常運営・生活ルール

- 食事はお部屋への配膳が中心。
- 昼食提供あり。希望者にバイタル測定(朝・昼・夕・就寝前)。体調確認は朝、夕

Q→A 行事は?参加希望確認のもと共有部に集まりイベン等を行う

Q→A 入居者様の自室へ訪問可?ご家族様、関係機関様入室可。友人の居室入室は不可。

共有部で面談(私物紛失等トラブルの防止)。

Q→A 屋外会話について?敷地内・敷地外禁煙で集まることはほぼない。

- 近隣配慮として屋外会話・大声・オンラインゲームの音量制限を周知。

Q→A 自室に手すり等の設置は可能か?設置については問題なし

Q→A 長期休暇の帰省状況について。年末年始はホームで過ごす入居者様が多い。

日中活動と就労継続支援

- 日中活動: 就労継続A型・B型、障害者雇用、精神科デイケア、在宅オンライン作業など多様。

- A型: 雇用契約あり、最低時給支払い。B型: 雇用契約なし、工賃中心（作業所説明）

食事提供体制・自炊

- 業者: てしおフーズ様。品数・栄養バランス管理あり。

- 自炊は自由。希望者にはIH 貸与しガス不使用で対応。

利用料金・負担

- 家賃: 25,000 円。家賃助成（生活保護・市民税非課税世帯対象、上限 10,000 円）。

- 食費: 朝夕で 27,000 円。昼食は 1 食 450 円追加。

- 消耗品費: 3,000 円。水道代: 2,200 円。電気・ガスは個別メーターで自己負担。

- 障害福祉サービス利用者負担: 入居者様は現状 0 円。

スタッフ体制

- 管理者、サービス管理責任者、世話人、生活支援員、看護師を配置。

Q→A 人材不足は？紹介ベースの応募が多く、人材は充足。

- 言葉遣い・支援の統一・情報共有を重視。

医療連携・安全対策

- 協力医療機関: いおうじ応急クリニック様。訪問診療は希望制

- 看護職員配置。爪切り・軽処置・体調不良時対応などで安心感向上。

- 施設に AED 設置（近隣に周知）

BCP・訓練・インシデント管理

- 令和 5 年 4 月に BCP（業務継続計画）を策定。職員研修を 10 月と 3 月に実施。

- ヒヤリハット報告は提出あり。未然防止のため積極的な提出・共有・会議で対策。

虐待・事故報告

近隣対応・苦情事例

- 音の問題について近隣住民より苦情があり謝罪・周知を実施。部屋位置により音の感じ方に差あり。

地域資源・生活利便性

- 久保町地域は就労 B、生活介護事業所、病院が近く、送迎もあり利便性が高い。

地域行事

- 自治会の避難訓練に参加。避難経路確認。ホームでも年 2 回の避難訓練を実施

- 直近の予定「12 月 28 日」消防署より水消火器をかりて訓練。

経営状況（前年度実績）

- 情報公表システムで公開

質疑応答・情報共有

入居者様のお部屋訪問→見学後解散